

EPA介護福祉士候補生 受け入れについて

医療法人 玉昌会
法人事務局 人事部
板川 幸子



医療法人 玉昌会



医療法人玉昌会 高田病院

日本医療機能評価機構認定病院 (vol.5.0) 2008年更新

高田病院は、1957年に開設、1976年から人工透析治療にも取り組んでいました。車椅子やベッド搬送を必要とする患者さま等を受け入れている医療保険適用病床149床、2009年9月より回復期病床30床を開設しての全療養型病院です。人間ドック、通所リハビリテーションも併設し鹿児島市の都市型療養病院としての役割を担っています。

- 住 所／鹿児島市堀江町5番1号
- 診療科／内科（人工透析ふくむ）、消化器科、泌尿器科、リハビリテーション科、循環器科、皮膚科
- 病床数／179床
- 休診日／日曜・祝日
- e-mail／takata@gyokushoukai.com
- 駐車場／15台
- アクセス／市電・市バス（金牛町・いづろ下車）徒歩約3分
鹿児島交通・林田バス・南国交通（金牛町下車）徒歩約3分
tel.099-226-4325 fax.099-222-8386
<http://www.gyokushoukai.com/kaon/>

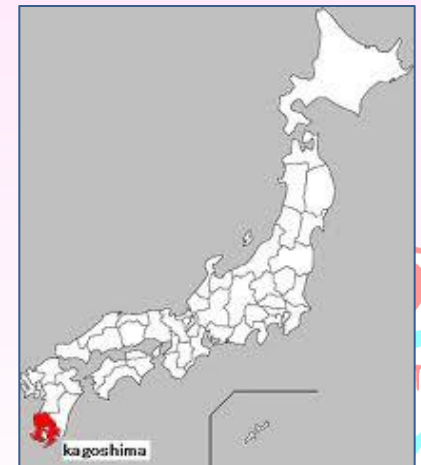
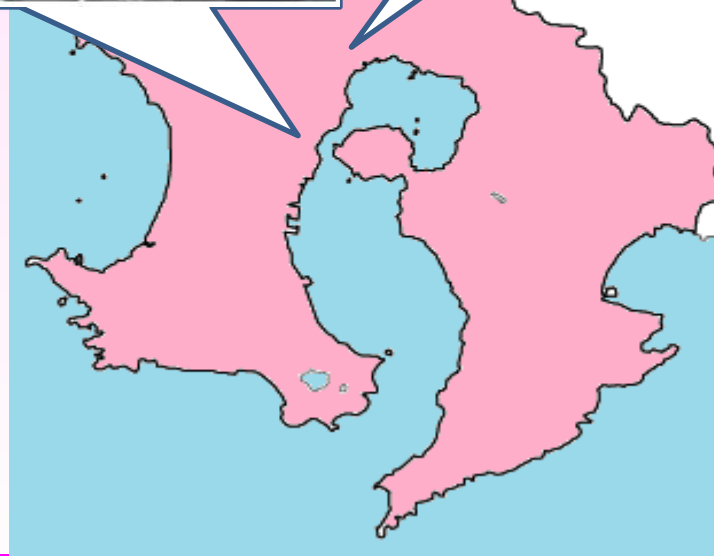


医療法人玉昌会 加治木温泉病院

日本医療機能評価機構認定病院 (vol.5.0) 2007年更新
機能評価リハビリテーション付加機能認定病院 2008年取得

加治木温泉病院は、1978年に病床数100床で開設、1997年に現在の350床に増床されました。1985年に人工腎臓センターを開設し、また1999年に総合リハビリテーション施設、2001年には回復期リハビリ病棟の認定、2002年に地域リハビリ広域支援センターに指定され、始良・霧島地区でのリハビリと人工透析の中核的な病院としての役割を担っています。

- 住 所／始良市加治木町木田4714
- 診療科／内科（人工透析ふくむ）、消化器科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、歯科
- 病床数／350床
- 休診日／日曜・祝日
- e-mail／kaon@gyokushoukai.com
- 駐車場／70台
- アクセス／JR加治木駅から徒歩20分
加治木インター前バス停から徒歩5分
tel.0995-62-0001 fax.0995-62-3778
<http://www.gyokushoukai.com/kaon/>



医療法人玉昌会の基本理念・行動指針

基本理念

「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです」

行動指針『低賞感微』

低：すべてに謙虚な気持ちで接する（Modesty）

賞：お互いを思いやり敬意を払う（Respect）

感：すべてに感謝する（Thanks）

微：微笑を添えて態度で示す（Smile）



玉昌会グループ

【医療法人玉昌会】

- ・高田病院 179床(鹿児島市)
 - ・医療療養 ・回復期
- ・加治木温泉病院 350床(姶良市)
- ・介護保険事業所 17ヶ所

【(株)JOY】

- ・清掃・売店・コミュニティ等
- ・介護保険事業 3ヶ所

【社会福祉士法人幸友会】

- ・かずみ保育園



加治木温泉病院 概要

開設日 ／ 昭和53年6月15日

病床数 ／ 350床

- ・一般病床 60床
- ・回復期リハ病床 54床
- ・医療療養病床 179床
- ・介護療養型医療施設 57床(平成12年4月開設)

診療科目 ／ ・内科(人工透析)・消化器科・呼吸器内科

- ・泌尿器科・耳鼻咽喉科・歯科
- ・リハビリテーション科



外国人就労状況

1. EPA介護福祉士候補生 比国2名（H22年）
 - ・H23年12月 1名帰国
2. 在比国介護士 1名（H24年 4ヶ月間）
3. ネパール人清掃員（語学留学生）1名
 - ・H26年3月 大学進学の為、退職
4. EPA看護師候補生 比国2名（H25年）



受け入れの目的

1. 少子高齢化社会の現状から、将来を見据えた看護・介護の人財確保
2. 他国、他国の人を知る事により、職員の活性化・知識の増加
3. 将来のブリッジ人財として両国の交流及び医療・介護の発展に貢献する



受け入れ準備

- 住む場所（敷地内寮の改装・インターネット環境）
- 生活に必要な物品の準備
（職員へ提供依頼アナウンス・電化製品準備）
- 全職員向け説明会実施（複数回）
 - 比国の状況・歴史・文化・生活環境
 - EPA制度説明
- 空港での出迎え（幹部職員）
- 就労初日 歓迎セレモニー
- 歓迎食事会
- 忘年会での紹介・・・電子辞書プレゼント



候補生の状況(来日時)

・生活環境

①20歳 未婚

②34歳 既婚 母国に夫・2歳の息子・両親

・日本語能力・・・当初の2名に差あり

①日本語検定3級資格取得・・・20歳

②日本語未経験...34歳

・教育レベル

①看護大学卒(実務経験なし)

②大卒 (経済学士・介護士)



教育体制①

1. 就労中学習時間 2時間(週5日)
2. 日本語教育・・・日本語漬けにしよう
 - ・家庭教師 1時間～1.5時間×週3日
 - ・日本語教師 ・留学経験ある指導者
 - ・JICWELS教材使用しての学習を依頼
 - ・申し送り内容の聞き取り確認指導
3. 国家試験対策・・・JICWELS教材活用
 - ・現場での指導(指導者の限定 3名で交代)
4. 集合教育への参加(指導者も参加)



教育体制②2年目

1. 就労中学習時間 1時間(週3日)
 - ＊ 実技学習・現場経験重視の為
 - (日本語家庭教師の日 2時間×週2日)
 - 約1年半で終了(教師の都合他)
 - ・N2試験チャレンジ・・・合格
2. JICWELS教材活用しての学習
 - ・ワークシートの活用
 - ・自己学習+指導者指導(3～5回/週)
3. E-ラーニングの活用・・・約10か月
 - ・日本語 ・専門知識習得
4. 集合研修参加



教育体制③ 3年目

1. 学習時間 就労時間内 1～2時間
 - ・日本人向け試験対策参考書活用
2. 高校(医療福祉科)へ特別聴講生として通学
 - ・専門科目 ・模擬試験
3. 介護技術講習受講・・・試験に集中できる環境
4. JICWELS教材活用
5. 集合研修
6. 国家試験対策勉強会参加・・・施設内(国試ナビ)
7. 模擬試験対策セットの活用
8. 院内研修会参加



教育体制④4年目

1. 学習時間 2時間(週3日)～3時間(週2日)
2. 集合研修参加
3. 国試ナビ活用
2. 専門高校の集中講座受講
3. 国家試験対策勉強会参加(院内職員向け)
4. 院内研修会参加



生活上の支援

- ・日常生活

- ・買い物支援（重いもの・大きなものの購入には職員が家族ぐるみで支援）
- ・地域の行事・田植え・稲刈り・運動会・祭り
花火大会・結婚式等への誘い

- ・ホームステイ

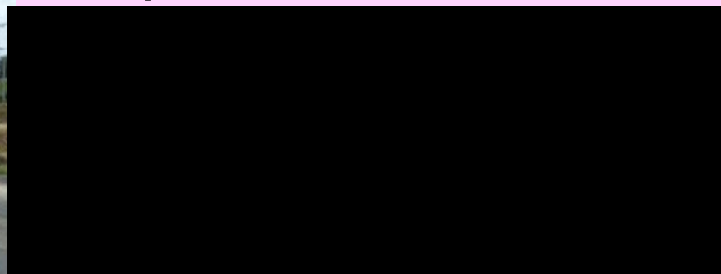
- ・同僚 ・家庭教師

- ・ホームパーティ

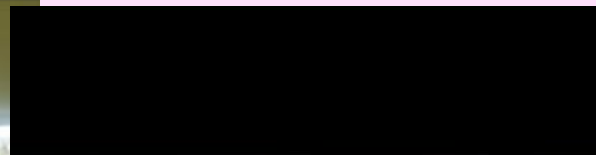
- ・留学経験のある医師が、家へ招き家族ぐるみで英語で話せる環境を作ってもらった



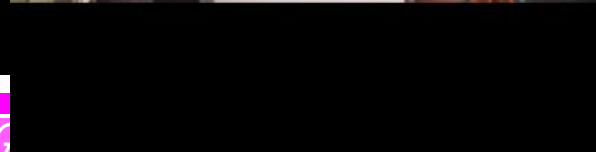
サマーナイト花火大会 浴衣のプレゼント



宮崎にて
サーフィン



田植え体験





忘年会で司会



同僚の
結婚式



小学校の運動会招待



学校の教室で、
団結式

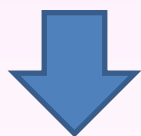


高校生と受験後
の慰労会



その他の支援

- ・教会・・・案内し協力を依頼、環境に慣れるまでは日曜ミサに参加
- ・臨床心理士の面談・支援
- ・英語学習中のセラピストより声かけ
- ・2年後・・・クリスマス休暇に帰国（約2週間の休暇）
- ・事務局よりの声かけ・・・現場には言えない事の聞き取り支援



平成26年3月国家試験合格



地元紙に掲載

県内初！

加治木温泉病院のフィリピン人のディヴァインさんが介護福祉士試験に一発合格！

ディヴァインさんはEPA（経済連携協定）に基づく当法人でも初めての外国人職員として約3年半の間、当院に勤務してこられ、このたび介護福祉士国家試験にフィリピン出身者では県内初の合格を一発で果たしました。

現在当院では、ディヴァインさんの他、2名の外国人看護師候補生が勤務しています。

今後も更に外国人職員の増強を図り、地域の患者さまのニーズはもちろん、国際社会にも貢献していく所存です。

加治木温泉病院院長 高田 昌実

加治木温泉病院のディヴァインさん



黒山さゆみさんにカルテの記入を教わるディヴァインさん（左）
＝始良市の加治木温泉病院

経済連携協定（EPA）により、始良市の加治木温泉病院で就労中のフィリピン人女性が、介護福祉士国家試験に一度で合格した。EPA受け入れを担当する国際厚生事業団によると、フィリピン出身者の合格は県内初めて。勉強熱心で、職場のサポートに頑張りで応えた。

合格したのは、看護師資格を持つ、デ・グスマン・ディヴァイン・クレイス・ロブレスさん（24）。患者と接するのが好きで福祉の道を選んだが、母国には仕事が少ないという。EPAで入国し2010年11月、加治木温泉病院内の介護療養型医療施設に着任した。

母国の大学では日本語を専攻し日常会話に不自由しなかったが、方言に苦労。患者に寝台を押さずて」と言われ、「最初は意味が

EPAで就労、職場が支援

「勉強で職場を離れるときも、私の仕事をみんな快く引き受けてくれた」とディヴァインさん。同僚に感謝の気持ちを示すため、一度で合格しようとしていた。当院は同病院で仕事を続ける。「もっと介護技術を磨いて、患者さんご上手に接することができるようにになりたい」と抱負を語った。（黒田昌平）

比出身、県内初 介護福祉士に

分ならず、標準語でお願いすると聞き返した」と振り返る。毎日9時間、同僚と同じように働き生活介助の経験を積んだ。在職中に帰国は1回だけ。昨年からは地元の高校へ通い、医療に関する法律や制度の知識も深めた。まじめで職場の刺激になった」と指導役の黒山さゆみさん（49）はたえ

2014年4月3日 南日本新聞に掲載



困ったこと

- 集合研修で習った日本語とスタッフの日本語のギャップ・・・きれいな標準語でない
 - 疑問形をイントネーションで区別
 - 「です」「ます」を省略
 - 職員間の親しみの挨拶へのとまどい
「おはよう」・・・患者さまへもいいの？
- 専門学習を理解させることの難しさ
- JICWELS試験で安心していたことで、第1回目の全国模試での成績に驚きあわてた



3年目頃、周囲は、

日常生活・会話に支障がなさそうだと
安心していましたが、

ご本人は、「本当の気持ちは日本語では十分
伝えられていない」と考えていた。



本人の戸惑い・不安を理解していることが大事



合格の要因

1. 本人の努力

- ・家族の為、周囲で支えてくれる人の為、合格したいという強い思い
- ・日本で働き続けたい

2. 周囲の理解

- ・初めての経験で、戸惑いながらも自分たちに行えることで応援してくれた
(学習・買い物・家族とのふれあい・日本の風土・風習・長期休暇への理解)

3. 感謝の気持ちを持ち続ける態度



今後の取り組み

- ・現状では、当院での介護福祉士は受入れできない
(介護療養型の廃止)

しかし・・・取り組み経験を活かしたい



- ・看護師候補生状況を確認しながら
継続受入れを検討していきたい
- ・グループ内での施設開設状況により、介護福祉士
も検討したい





くも合戦

ご清聴ありがとう
ございました

龍門の滝

